

番号	質問	回答
1	女性エリートコーチ育成プログラムについて、女性コーチを育成するコーチ（講師役）は男性でもいいのか。	対象者は女性だけでなく、女性エリートコーチを育成するのは男性でも可。
2	①3つのプログラムがあるが、2つ以上申し込んでもよいのか。 ②1つのプログラムに対して、何団体程度採用か。	①プログラムをまたがって応募いただくことは可能。調査研究に2件応募でも可。 ②調査研究1件1千万円以内程度。調査研究は全部で4件程度採択予定。1千万×4件を想定しているが、500万×8件になる可能性もある。予算規模を踏まえて、企画提案数と審査結果で採択数を決める。
3	調査研究、①・②は去年までなかったが、どう違うのか。明確に書いて分けた方がいいのか。	企画提案の際に、どちらのタイプで出すのかは明確にしていきたい。 ①は基礎研究を含む調査研究、②は実践的な調査研究を想定している。 ②については、今年の調査研究だと球技に多いACLについて、強化現場と連携する調査研究を採択されている。
4	ジュニア層を含む女性とあるが、ジュニア層とはどこからどこまで位を想定しているのか。	明確な定義はしていないが、女性アスリートでトップレベルを目指すジュニア層としていただきたい。
5	学校の部活動単位でもよいのか。	対象になるが、一般の部活動というよりは、相応に競技水準が高い団体を想定していただきたい。
6	支援プログラムについて、中央競技団体との連携とあるが、スポーツ庁から紹介いただくことは可能なのか。 また、過去に受託された作成されたものを広める等、プラットフォーム作りも対象になるのか。	紹介は可能。ターゲットの想定は具体的にして企画提案いただきたい。また、ターゲットを含む関係機関との連携方法や体制については、審査対象になるので具体的に記載いただきたい。 なお、過去の成果物を活用した内容についても、発展性等があれば対象になりえる。
7	企画提案書の作成にあたって、枚数制限はあるか。 また様式と別にパワーポイント等の資料を添付してもよいのか。	特になし。パワーポイント資料を別添とするのも問題ない。
8	支援プログラムの中で調査研究の内容も検討しているが、どのような形で応募したらよいか。	支援プログラムと調査研究それぞれで応募いただくのはどうか。企画提案書の中で両者の繋がりが分かるようにしていただくとよい。